

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 地域学校協働活動の取組事例

「みんなで支える学校！みんなで育てる子どもたち！」(岩手県 陸前高田市)

取組の概要や経緯

当市の小学校及び中学校では、平成23年3月11日の東日本大震災の直後は受けた被害を復旧するため、教職員は通常業務以外においても毎日忙しい状況であった。そこで、少しでも学校を支援する方策について検討を重ね、学校が必要とする作業について地域の方々が支援することで地域が学校を支え、また、地域と学校とで協働して子どもを育てていく環境を作ることを目的として、平成24年度には「学校支援地域本部事業」を導入したところである。

内容

学校が支援を必要とする次の1から5に掲げる活動に対し、地域住民が地域コーディネーターを通じて学校支援ボランティアとして協力する。

- 1 学習支援（裁縫や調理実習の補助、技術科の補助、野菜畑の作業など）
実習の授業において地域住民に協力いただくことにより、個々の児童生徒の状況を細かく確認し、遅れている子にはすぐに支援に入るなど、細かい対応ができるようになる。
- 2 環境整備（花壇の整備、校舎の清掃等）
復興工事による粉塵飛散の影響も多く、清掃を要する。また、花壇の整備により学習環境の向上を図る。
- 3 登下校の安全確保
復興工事車両（トラックなど）が頻りに走行しており危険性が高いため、付添いして見守る必要がある。
- 4 学校行事補助
運動会や文化祭などの行事に地域住民が参画し、地域が一体となって子どもを育てる環境をつくる。
- 5 その他各種活動（図書補助、放課後等の児童見守り、プール見守りなど）
学校で必要とする支援作業、または地域住民における知識経験の技能を学校教育で活かせる作業を行う。

ポイント

- ① 子どもに関係する災害復興に係る不具合（交通環境など）に対して支援する。
- ② 子どもの学習環境の改善のため、地域ぐるみで支援する。
- ③ 地域住民が学校を支援するという統一した意識を持つことで、地域コミュニティの形成につなげる。

成果

市内の学校に配置した地域コーディネーターが、学校が必要とする支援に応じて地域住民への協力依頼など地域との調整を図ったことで、学校における教育活動や教育環境の充実を図ることができた。また、児童生徒は、地域住民にお世話になることを通して、地域に支えられていると感じ、社会性が培うことができた。

支援回数 単位:回	学習支援	環境整備	登下校の 安全確保	学校行事 補助	その他 各種活動	合計
小学校の部	470	1,787	2,458	169	1,489	6,373
中学校の部	176	22	0	4	203	405
計	646	1,809	2,458	173	1,692	6,778



↑ 車両が多い地点の登下校見守り

↓ 家庭科(裁縫)でこまやかな対応



今後の方向性

より充実した事業展開をしていくためには、学校と地域双方がこの制度を理解し、ともに支えあっていく体制が必要となる。

今後は学校と地域に対して理解を深めていただくための施策を考えていく必要がある。